

自己評価報告書

(令和元年度 学校評価)

令和2年3月

学校法人 山口学園

長崎公務員専門学校

1. 教育理念・目的

本校は、主に国・地方公共団体のあらゆる分野に適応できる一般教養、専門知識及び社会性を身につけた人材を育成し、もって社会に貢献することを目的とする

2. 教育目標

- ①学生一人ひとりの夢実現を目指す
- ②高い倫理観と豊かな人間性をもった社会人の育成を目指す

3. 運営方針

- ①学生の満足度を向上させる
- ②教職員の満足度を向上させる
- ③保護者・地域からの信頼度を向上させる

4. 本年度の重点努力目標

- ①公務員試験一次合格率100%
- ②社会人としての意識や行動、基本的マナーの育成

5. 評価項目別取組状況

評語について

A 十分達成（達成率90%以上）、B 概ね達成（達成率90%未満～70%以上）、C 取り組まれているが成果が十分でない（達成率70%未満～50%以上）、D 取組が不十分である（達成率50%未満）

【1. 教育理念・目的、育成人材像】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己 評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
1-1	学校の理念・目的、 育成人材像は定めら れているか	<input type="checkbox"/> 理念・目的、育成人材像は文書化するなど明確に 定めているか <input type="checkbox"/> 育成人材像は、主な官庁の求める人材像に沿って いるか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・目的、育成人材像は学則等に定めてお り、ホームページにおいて明記している。 ・主な官庁の求める人材像に沿っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学則第1条(P1-3) ・ホームページ(学校 の目的・概要)(P4) ・主な官庁のホームペ ージ(P4-7)
1-2	学校の理念・目的、 育成人材像を学生・ 保護者・教職員等に 周知し、理解されて いるか	<input type="checkbox"/> 理念・目的等を学生・保護者・教職員等に周知し、 理解されているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学則、ホームページ、教室掲示版において周 知している。（※今後、「募集要項」を改訂し た際には、明記する。）また、入学時に「長崎 公務員専門学校での過ごし方」として、学則を 抜粋したものを配付して説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎公務員専門学校 での過ごし方 (学則抜粋)(P7-8) ・学生・保護者・教職 員アンケート設問1 (P9-11)

【2. 学校運営】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己 評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
2-1	運営方針に沿った事業計画、体制等が策定されているか	<input type="checkbox"/> 事業計画が策定されているか	A	毎年度始めに具体的な事業計画書を作成している。	・事業計画書(P11-15)
2-2	人事、給与に関する規程等は整備されているか	<input type="checkbox"/> 採用手続き、給与支給等に関する基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	A	・就業規則に定め、全職員に公表した上で職員室に備え付けている。 ・人事考課規程を定め、全職員に公表した上で職員室に備え付けている。	・就業規則（第2章、第6章）(P16-28) ・人事考課規程(P28-30)
2-3	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	<input type="checkbox"/> 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	・ホームページの情報公開ページにおいて公開している	・ホームページ（教育情報の公表）(P30-32)
2-4	業務の効率化が図られているか	<input type="checkbox"/> 業務の効率化が図られているか	A	・検討できる作業については、各職員が提案し効率化を図っている。 ・効率化が図られていることを各職員が実感している。	・企画・提案書(P33) ・教職員アンケート22(P11)

【3. 教育活動】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己 評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
3-1	教育理念、教育目標に沿った教育課程を編成・実施しているか	<input type="checkbox"/> 教育理念、教育目標に沿った教育課程を編成・実施しているか <input type="checkbox"/> 教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な学生を受け入れるため、昼間部および夜間部にそれぞれ複数の学科を設け、学生が希望する進路への合格を支援できる教育課程を編成・実現している。 ・公務員試験の試験種別、科目別、担当者別に正答率を集計し、出題数や正答率から、必要に応じて、各学科の授業時間数や開講科目について見直し、改定を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・科目一覧(別科含む)(P33-34) ・科目別正答率集計表(P35)
3-2	成績評価・単位認定、課程修了認定の基準は明確になっているか	<input type="checkbox"/> 成績評価・単位認定、課程修了認定の基準は学則等に規定するなど、明確にし、かつ学生等に明示しているか <input type="checkbox"/> 成績評価の基準等は、客観性・統一性の確保に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 授業科目について到達目標、授業計画、成績評価基準等は学生に明示されているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価・単位認定、課程修了認定の基準は学則等に規定し、入学時のオリエンテーション時に周知している。 ・シラバス作成ガイドラインにより、シラバス作成時の、評価方法(割合)、評価基準の記載方法を示すことで統一性を確保するとともに、作成したシラバスについては、担当者と別のものが確認し、客観性についても確保している。 ・作成したシラバスをホームページにおいて公表し、入学時のオリエンテーション時に周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学則 9-12 条、18 条(P1-3) ・シラバス作成ガイドライン(P35-36) ・科目別シラバス(P36-38) ・学生アンケート 2、3(P9-10)
3-3	授業評価の実施・評価体制はあるか	<input type="checkbox"/> 授業評価の実施・評価体制は整備されているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学生に対して授業科目ごとに授業内容についてのアンケートを実施し、集計結果についても各教員にフィードバックを行うことで、授業の改善に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケート(P38-42)

3-4	教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	<input type="checkbox"/> 実施要領を作成しているか <input type="checkbox"/> 各種研修会に参加しているか	B	長崎公務員専門学校研修実施要領に基づき、各教員に各種研修会への参加を促している。 (参加実績) ・発達障害のある人への片づけ支援(山口、板屋) ・高等教育の修学支援新制度説明会(酒井) ・長崎県民大学講座 公務員の仕事とは(田縁) ・発達症を知る(田縁) ・情けは人の為ならず(田縁、池田、板屋、濱田、平田、祥平、山口、山下、古川、増丸)	・研修実施要領(P42)
-----	------------------------------	---	---	---	--------------

【4. 学生指導等】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
4-1	学生が目標達成に向けて、自主的、計画的に学習できるような取組が行われているか	<input type="checkbox"/> 授業計画やシラバスなどを作成、周知しているか <input type="checkbox"/> テキストは改善・工夫しているか <input type="checkbox"/> 質問体制、自習教室の設置は適切か <input type="checkbox"/> 課題・確認テストの実施や分量は適切か	A	・授業計画やシラバスを作成し、ホームページ等で周知している。 ・担当者は、毎年テキストの見直しを行い、改善、工夫している。 ・質問が多い教科は、放課後に担当者が教室で待機するなど、質問しやすい環境作りに取り組んでいる。また平日休日ともに9:00~20:00まで利用できる自習教室を設置している。 ・課題・確認テストは、学生の負担にならないように考慮しながら実施している。	・ホームページ(授業計画シラバス)(P43) ・学生アンケート3、12、16、17、20(P9-10)

4-2	<p>社会人として必要な、基本的な生活習慣の確立のための取組が行われているか</p>	<p><input type="checkbox"/>学則やマナーを守る学生の育成を目指した取組が行われているか</p> <p><input type="checkbox"/>欠席・遅刻の連絡を守らせるようにしているか</p>	A	<p>・自ら学則やマナーを守り、健全な学校生活を送る姿勢をもつような指導に取り組んでいる。また違反等があれば、個別に指導を行っている。</p> <p>・欠席、遅刻する場合は、朝9：00までに電話連絡をするよう指導している。</p>	<p>・学生アンケート4 (P9-10)</p>
4-3	<p>学生が主体的に進路を実現していくための取組が行われているか</p>	<p><input type="checkbox"/>ホームルームなどで、必要な情報を提供できているか</p> <p><input type="checkbox"/>校内での官庁ガイダンスの開催、校外でのガイダンス参加を奨励しているか</p> <p><input type="checkbox"/>自己分析の早期実施と改善に取り組んでいるか</p> <p><input type="checkbox"/>卒業生の講話などを積極的に実施しているか</p>	A	<p>・毎日のホームルームや、ホームページ、掲示板で、採用試験や説明会等の情報提供を行っている。</p> <p>・官庁の担当者に来校してもらい、ガイダンスを開催している。また校外で実施される官庁ガイダンス等は案内を行い、参加を奨励している。</p> <p>・授業やホームルーム時に自己分析をする時間を設け、目標実現に向けて改善していけるよう取り組んでいる。</p> <p>・卒業生が在校生に体験談や仕事の話をする機会を作り、学習法や進路の参考にできるようにしている。</p>	<p>・学生アンケート5、7、10 (P9-10)</p> <p>・官公庁ガイダンス開催一覧(校内) (P43)</p> <p>・官公庁ガイダンス案内一覧(校外) (P44)</p> <p>・卒業生による講話実施一覧(P44)</p>

【5. 学修成果】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己 評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
5-1	目標とする1次合格 率が達成できたか	<input type="checkbox"/> 1次合格率に関する目標設定はあるか <input type="checkbox"/> 目標は達成できたか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・昼間部1次合格率100%を目標としている。 ・昼間部1次合格率91.0%*であった。 ※2020年1月16日時点	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス別合格実績 (P45)
5-2	目標とする突破率 (最終合格者数/1次 合格者数)が達成で きたか	<input type="checkbox"/> 突破率に関する目標設定はあるか <input type="checkbox"/> 目標は達成できたか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・昼間部突破率90%を目標としている。 ・昼間部突破率67.4%*であった。 ※2020年1月16日時点	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス別合格実績 (P45)
5-3	長欠及び成績不振に よる退学率の低減が 図られているか	<input type="checkbox"/> 長欠および成績不振による退学率に関する目標設 定はあるか <input type="checkbox"/> 目標は達成できたか <input type="checkbox"/> 中途退学の要因、傾向、退学者数等を把握してい るか <input type="checkbox"/> 指導経過記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 心理面、学習面での特別指導体制を図り、退学率 の低減に取り組んでいるか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・昼間部退学率3%以内を目標としている。 ・昼間部退学率3.8%であった。 平成30年度昼間部入学者数*186名 うち長欠および成績不振による退学者数7名 ※平成29年11月及び平成30年4月入学生（編入学含む） <ul style="list-style-type: none"> ・学力不振の学生・心身不調の学生との面談、 相談指導経過記録の作成、退学者数一覧表を作 成している。 ・「指導経過記録」は、共有フォルダに保存し ている。 ・欠席が多い学生には、担任が本人また保護者 へ連絡し、欠席が長期になる前に声掛けをおこ なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談・指導経過記録 (P46-47)

【6. 学生支援】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己 評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
6-1	就職に関する支援体制は整備されているか	<input type="checkbox"/> 就職活動の支援体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 関連する主官庁と就職に関する連携体制が整備されているか <input type="checkbox"/> 就職に関する個別の相談に対応する体制が整備されているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「家族説明会（教養重点科）」「三者面談（教養重点科）」「二者面談」等を実施。 ・官公庁による説明会を実施している。 ・卒業生による講話を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援体制一覧 (P47) ・官公庁ガイダンス開催一覧（校内）(P43) ・卒業生による講話実施一覧(P44) ・学生アンケート7、8、10 (P9-10)
6-2	学生相談に関する体制は整備されているか	<input type="checkbox"/> 学生に対して、相談しやすい環境を作っているか <input type="checkbox"/> 相談記録を適切に保存しているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みや困りごとは担任が聞き取り、職員間で対応を協議し、学校全体で解決を図っており、また、直接は言いにくい事などにも対応するため、意見箱を設置している。 ・「相談・指導経過記録」を作成、共有フォルダに保管している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生アンケート8、9 (P9-10) ・相談・指導経過記録 (P46-47)
6-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	<input type="checkbox"/> 分割納付制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応し、利用について学生に十分情報提供しているか <input type="checkbox"/> 経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業料分割納付制度を整備している ・日本学生支援機構の奨学金の募集は毎年実施しており、1年未満のコースの学生には国の教育ローンの紹介を行っている。また、利用についての相談にも適切に対応し、情報を提供している。 ・日本学生支援機構の奨学金利用について実績を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業料分割納入の取扱いに関する規程 (P48) ・日本学生支援機構奨学金案内(P48-49) ・国の教育ローン案内 (P49) ・日本学生支援機構奨学金利用者数(P50)

6-4	障がい等を理由とする配慮希望者に対する支援体制は整備されているか	<input type="checkbox"/> 受け入れに当たっての体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 配慮を希望した内容に沿った支援を行っているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮希望者への対応をマニュアル化している。 ・配慮希望内容を文書と聞き取りにおいて把握し、対応している。 ・申請件数3 (R1 1件、R2 2件) 同意件数3 (R1 1件、R2 2件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮希望者への対応 (P50) ・配慮希望申請書・同意書(P51)
6-5	保護者と適切に連携しているか	<input type="checkbox"/> 報告書等で、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 個人面談等の機会を、教養重点科の保護者に提供しているか <input type="checkbox"/> 学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか <input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制を確保しているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・出欠状況、模擬試験成績、担任からのコメントを月1回送付している。 ・三者面談を実施し、また、家族説明会において相談がある場合には連絡くださるよう、呼びかけている。 ・欠席が続く、遅刻早退が多い、成績不振などの生徒については担任が保護者へ連絡し、状況把握、改善に努めており、保護者から相談がある場合には個別対応をしている。 ・入学時「個人カード」作成時に、本人以外の緊急連絡先を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者あて報告書 (P52) ・相談・指導経過記録 (P46-47) ・保護者アンケート4、5、6 (P10) ・個人カードの様式 (緊急連絡先) (P52)
6-6	卒業生への支援体制はあるか	<input type="checkbox"/> 卒業生の就職活動支援体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 就職後の悩み、相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 同窓会を組織し、活動状況を把握しているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後も公務員採用試験を受験する学生に対して模擬試験の案内を送付、またホームページにおいて願書を案内し、配付、提出できるようにしている。生徒の状況や学歴などを考慮して担任が個別に連絡を取ることも行っている。 ・就職後の悩み、相談に適切に対応している。 ・卒業生同士の連携を深めるために同窓会を組織し、理事会に定期的に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験案内(P53) ・ホームページ(新着情報・試験情報) (P54)

【7. 教育環境】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己 評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
7-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	<input type="checkbox"/> 施設・設備は、設置基準に適合しているか <input type="checkbox"/> 自習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか <input type="checkbox"/> 卒業生に施設・設備を提供しているか <input type="checkbox"/> 施設・設備等の定期点検、補修等について適切に対応しているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教室、パソコン室、質問室、面接室など必要な施設を備えている。 ・土日、放課後に利用できる自習室を整備している。 ・卒業生に対して、自習室の貸し出しを行っている。 ・施設・設備等の定期点検は、教職員が年1回実施し、必要な場合は修繕を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検チェックリスト集計表 (P54) ・学生アンケート11、12 (P9-10)
7-2	防災に対する体制は整備されているか	<input type="checkbox"/> 災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備しているか <input type="checkbox"/> 学校施設の耐震化の推進に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 法令に基づき、消防設備等の整備及び保守点検を行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 防災訓練を定期的実施しているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・火災発生時と地震発生時の防災マニュアルを整備している。 ・3号館は新耐震基準により建設されているため耐震性能を有している。2号館・本館については、現行の新耐震基準に適合しない建築物(昭和56年5月以前に建築確認を受けたもの)であるため、耐震化の検討はしているが、現段階では取り組みができていない。 <p>2号館：3階以上かつ床面積が1000平方メートル以上 耐震診断及び耐震改修の努力義務あり</p> <p>本館：3階以上かつ床面積が1000平方メートル未満 耐震診断及び耐震改修の努力義務なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令に基づき消防設備点検を実施し、不具合箇所は適切に改善している。 ・年1回の自主訓練では、火災時の避難訓練を想定して実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアル (P55) ・消防用設備等点検結果報告書(P56-57) ・避難訓練実施要領 (P57)

【8. 学生募集】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己 評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
8-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	<input type="checkbox"/> 高等学校及び大学における説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか <input type="checkbox"/> 高等学校及び大学の教職員に対して訪問を実施し情報提供を行っているか	B	<input type="radio"/> 説明会 ※回数には見込を含む ・高校 参加回数 17回／参加者数 338人 ・大学 参加回数 6回／参加者数 278人 <input type="radio"/> 学校訪問 ※見込を含む ・高校 のべ訪問回数 142回／学校数 78校 ・大学 のべ訪問回数 8回／学校数 6校	・高校進路ガイダンス参加一覧(P58) ・学校訪問一覧※高校(P58) ・大学進路ガイダンス・大学訪問一覧(P59)
8-2	学生募集活動において、就職状況等の情報は正確に伝えられているか	<input type="checkbox"/> 志願者等からの入学相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 学校説明会等において、設置学科、合格率等について正確に、分かりやすく紹介しているか	A	・学校説明会終了後、個別相談の時間を設けて対応している。また、学校説明会に来ることが出来ない学生に対しても、適宜対応している。 ・合格率においては、昨年度の確定値と今年度分についても最新のものに更新をしながら示している。	・学校説明会資料(P59-62)
8-3	校納金は妥当なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 校納金は妥当なものとなっているか <input type="checkbox"/> 校納金等徴収する金額はすべて明示しているか	A	・他の機関との比較により、金額は妥当である。 ・徴収する金額はすべて募集要項にて明示している。	・校納金の妥当性について(P63-64) ・募集要項(P65)

【9. 財務】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己 評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
9-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	<input type="checkbox"/> 収入と支出はバランスがとれているか <input type="checkbox"/> 負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動収支計算書（公務員）における「経常収支差額」が黒字である。 ・貸借対照表（公務員）における「負債の部合計額」が、「現金預金額」内に収まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動収支計算書(P65-66) ・貸借対照表(P67)
9-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 予算と決算に大きな乖離を生じていないか <input type="checkbox"/> 予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動収支計算書（公務員）における「基本金組入前当年度収支差額」の予算と決算の乖離は20%以内に収めたかったものの、平成30年度において38%であった。これは減価償却費を予算に計上していなかったためで、計上していれば15.4%であった。次年度から減価償却費を計上することによって、乖離を解消する予定である。 ・予算は3月に策定し、5月に修正予算を策定することで予算補正措置を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動収支計算書(P65-66)
9-3	財務について会計監査が適正に行われているか	<input type="checkbox"/> 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施し、改善意見について記録して適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 監査報告書を作成し理事会等で報告しているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・監査実施 監査報告書作成 5月16日 ・監査結果報告 理事会5月18日、評議員会5月18日 	<ul style="list-style-type: none"> ・監査報告書(P68) ・理事会議事録(P68)
9-4	財務情報公開の体制整備はできているか	<input type="checkbox"/> 財務情報についてホームページに掲載するなど公開に取り組んでいるか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの情報公開ページにおいて公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ(法人情報) (P69)

【10. 法令等の遵守】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己 評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
10-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	<input type="checkbox"/> 関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等を適切に行っているか	A	・学校教育法や専修学校設置基準に定められている規則を遵守し、所轄庁へ必要な書類の提出を行っている。	・専修学校設置基準(P69-74) ・学則(P1-3) ・就業規則(P16-28)
10-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	<input type="checkbox"/> 個人情報保護に関する規程を定め、適切に運用しているか	A	・個人情報の適切な管理のために、個人情報保護規定を策定し、「個人情報の取り扱いについて」をホームページに掲載しており、在学生に対しては入学時に配付している。外部に公表する書類(合格者名簿等)に、学生の個人情報を掲載する際には、利用目的を明示し個別に了承を得ている。また、外部からの不正アクセスのみならず、学内においても不正な利用がなされないようユーザ権限に応じて実行できる機能を制限している。	・個人情報保護規定(P75-77) ・個人情報の取り扱いについて(P78)
10-3	自己評価・学校関係者評価の実施と問題点の改善を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備しているか <input type="checkbox"/> 実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	A	・学則、実施規程及び実施要領を整備している。 ・評価委員会を設置し、年間スケジュールに沿って委員会を実施した。 ・昨年の成果が十分でなかった「教職員の質向上」については、研修実施要領を策定し、改善に取り組んだ。	・学則第4条(P1-3) ・学校評価実施規程(P78-80) ・学校評価実施要領(P80-81) ・自己評価表(昨年分)(P81) ・研修実施要領(P42)

10-4	自己評価・学校関係者評価結果を公開しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか <input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・評価結果は報告書を作成している。 ・ホームページにおいて公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価報告書(昨年度分) (P82) ・ホームページ(学校評価) (P82)
------	------------------------	--	---	---	---

【11. 社会貢献・地域貢献】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
11-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	<input type="checkbox"/> 学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県パソコンセミナー、大学入試、検定試験、長崎県からの委託事業、同窓会の会場として、施設の貸し出しを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸教室利用状況一覧(P83) ・受託事業実施資料(P83)
11-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	<input type="checkbox"/> ボランティア活動など社会活動について、外部団体主催の窓口になる等、学校として積極的に支援・奨励しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの参加人数を学内で把握しているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の祭り、長崎県警の防犯学生ボランティア、学校周辺の清掃活動への参加を奨励し、各種団体との窓口・支援・奨励を行っている。 ・ボランティア参加状況一覧表を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア参加状況一覧(P84) ・学生アンケート14(P9-10)
11-3	高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	<input type="checkbox"/> 高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生対象の「職業別体験ガイダンス」へ参加して、高等学校へ出向き、ガイダンスを実施している(2019年度14回)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校進路ガイダンス参加一覧(P58)

6. 本年度の総合的な評価結果

自己評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・38項目中30項目（78.9%）が“A：十分達成”、8項目（21.1%）が“B：概ね達成”となっており、全体としては各評価項目について十分達成しているとみることができる。 ・しかしながら、本校の存在価値である【5.学修成果】の全3項目が“B：概ね達成”だったことを鑑みると、総合的な自己評価としても“B：概ね達成”とすべきだと考える。

7. 今後取り組むべき課題（改善策）

（1）学生に関する事項

課題	具体的な取り組み方法
（評価項目5-1より） 昼間部1次合格率 <u>100%</u> の達成 参考：平成31年度 91.0% ※2020年1月16日時点	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験、校内模擬試験等の成績と受験結果の相関関係の分析をより深め、進路相談の根拠としての精度を高める。 ・模擬試験下位者への重点的な声掛けやアドバイス、指導、相談を個別に行う。
（評価項目5-2より） 昼間部突破率（最終合格者数／1次合格者数） <u>90%</u> の達成 参考：平成31年度 69.2% ※2020年2月21日時点	<ul style="list-style-type: none"> ・面接試験対策教材の充実を図り、的確な自己分析を可能にする。 ・入学時から面接担当を割り振り、入学時から指導を図る。 ・入学時の面接評価が特に低かった学生に対しては、面接担当教員がメンターとなり、普段の生活態度から指導を行う。また、当該学生の成長については教職員間で情報共有しながら、より良い指導を図る。 ・学生同士で面接チェックを行えるよう、自主練習できる環境を整える。 ・面接対策としてグループワークを実施する。
（評価項目5-3より）昼間部退学率 <u>3%以内</u> の達成 参考：平成30年度昼間部退学率3.8% 平成30年度昼間部入学者数186名※うち長欠および成績不振による退学者数7名 ※平成29年11月及び平成30年4月入学生（編入学含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・早い段階で、本人や家族への連絡・面談の実施を徹底する。 ・学生同士でコミュニケーションをとれる場としてホームルームを活用し、仲間づくりを推奨する。

(2) 教職員に関する事項

課 題	具体的な取り組み方法
(評価項目3-4より) 教職員の資質向上を行う。	<ul style="list-style-type: none">・「目指すべき教職員像」を設定し、すべての教職員に必要となる資質や、担当する業務に必要となる資質を明確にし、チェックリストを用いた自己評価および他者評価により、教職員に不足する資質を調査する。・教職員が日頃の業務を行う中で必要だと感じている資質を調査する。・資質を向上することが出来る研修プログラムを作成し、必要に応じて、学内外での研修会開催・参加や公開授業などを行う。

(3) 保護者に関する事項

課 題	具体的な取り組み方法
(評価項目6-5より) 報告書等で、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行う個人面談等の機会を、教養重点科の保護者に提供する	<ul style="list-style-type: none">・これまでも保護者に対して相談等について呼びかけをしてきたが、家族説明会資料・毎月の出欠状況報告書で明示し保護者が学校に連絡する場合の心理的ハードルを下げるように取り組む。また、受験先の希望調査をする際、保護者のサイン欄と質問欄を設け、相談する機会を増やす。・従来、学生に向けて行ってきた学校での取り組み(願書案内、下書きチェック、学校一括提出、面接試験に向けての対策、朝掃除活動など)を保護者にも家族説明会やSNSで公開し、学生・保護者・学校の間で共通理解を深めるよう取り組む。